

令和元年度

定期監査結果報告書

南伊勢町

1. 監査実施年月日及び監査対象

実施日 場所	時 間	対 象 課	項 目
1月28日 (火) 南勢庁舎 委員会室	9:00~9:50	防災安全課	■津波避難タワーの建設と今後の利用計画等について
	10:00~10:50	まちづくり 推進課	■若者定住・転入促進事業の実施と成果について ■新エネルギー活用事業について
	11:00~11:50	観光商工課	■みなみいせ商会の事業展開について
	13:30~14:30	税務住民課	■宿田曾出張所の現金保管の状況・勤務の状況・徴収及び諸証明の取扱について(現地調査)
2月3日 (月) 南島庁舎 旧町長公室	9:00~10:50	子育て・福祉 課	■未就学児の英語力向上事業について(現地調査あり) ■保育料無償化の実施について
	11:00~11:50	教育委員会 事務局	■学校給食費の半額補助について ■ふるさと教育(ふるさとフォーラム21)について
	13:00~13:50	建設課	■道路改良整備の進捗状況について ■町営住宅の移転と分譲宅地整備の進捗状況について ■町営住宅の管理状況について
	14:00~14:50	環境生活課	■クリーンセンターにおける一般廃棄物の処理について(現地調査)
	15:10~16:00	水産農林課	■ウニ、アワビなどの養殖試験について(現地調査)

2. 監査の種別

地方自治法第199条第4項及び第7項の規定に基づく定期監査。なお、行政監査の視点に立った監査も併せて実施した。

3. 監査の方法

事前に提出された資料に基づき、質疑応答方式により実施した。

4. 監査の主眼

標準町村監査基準第14条にうたわれる「町村経営に係る事業の管理が、合理的かつ効率的に行われているかどうか」を主眼として、各課の事務処理が適正に行われているか、その効果は十分発揮されているか、安全管理の体制は万全か、補助金は適正に執行されているか、また、各課等監査項目について、その事務処理は適正に管理されているかについて実施した。

5. 監査の結果

監査対象に対する監査の結果は下記の指摘及び意見のとおりである。

なお、監査時に気づいたことは、その都度口頭で担当課長等に指摘し、改善を指示した。

(1) 防災安全課

- 五ヶ所浦津波避難タワー整備工事のタワー部分は完成しているが、一次避難場所として安全対策の整備工事を早期に完成させるとともに、今後の利用計画を関係機関、関係部署と連携して進めていくように要請した。また、引き続き住民への防災・減災対策についての啓発活動強化を図っていただきたい。

(2) まちづくり推進課

- 若者定住促進事業・移住交流事業関係（転入促進）に関する補助金等についての町内へのさらなる PR 活動を継続していくことや、町外への情報発信に努めるよう助言した。
- 新エネルギー活用事業については、これまで取り組まれてきた調査検証結果を踏まえて、住民にとって負担の少ない仕組みになるように今後の事業化の判断をされたい。

(3) 観光商工課、みなみいせ商会

- みなみいせ商会へ支出されている産業課題改善業務については、少子高齢化が進む本町にとっての課題解決に向けて、地場産業育成と雇用の創出や定住促進を図るうえで大きな役割を担うことから、経営を確立するとともに自立拡大を図るよう要請した。

(4) 税務住民課（宿田曾出張所）

- 現金の保管や取扱には十分留意がなされ、適正に管理されていた。
- 出勤簿、休暇簿、時間外命令簿等について、概ね適正に処理されていた。
- 現在の人員配置が1名であることから、適正な事務量の把握や職員の休暇取得等の状況把握に留意が必要である。

(5) 子育て・福祉課

- 保育料無償化、未就学児の英語力向上事業の取り組みを通じて、若者定住と移住促進へ繋げていくように町内外への PR 活動の強化を助言した。

(6) 教育委員会事務局

- 学校給食費の半額補助については、保護者の経済的負担の軽減につながることから、今後も子育て環境の充実を図られたい。また4年前から毎年実施されているふるさとフォーラムについては、小中学生の地場産業体験等を通じて地元愛の心が育まれている。今後もより充実した活動が行われるよう努められたい。

(7) 建設課

- 道路整備及び町営住宅の移転と分譲住宅の整備については、概ね計画通り進捗していた。

(8) 環境生活課（南島クリーンセンター）

- 南勢・南島地区のゴミ種別における収集運搬方法の統一性を求めるとともに、今後のクリーンセンターの在り方について関係部署との協議、調整を進め、計画していくよう要請した。また一部委託を行っている業務委託内容の見直しを行い、予算計上に反映していくことを助言した。

(9) 水産農林課（種苗センター）

- ウニ・アワビの試験養殖については、関係機関や関係部署との連携を密にしながら、取り組まれており、町の産業活性化の一つとなるよう努力されていることがうかがえた。今後の事業化に向けて試験活動の充実強化を要請した。

6. 意見

過年度来の指摘もあり、各課とも補助金は適正に執行されており、大きな事業計画についても計画どおりの進捗を見せている。今後も、諸経費の削減に努め、町民サービスの向上に繋げていただくよう要望した。

また、少子高齢化が急速に進んでいる当町にとっての、年少人口V字回復の取り組みを各課の垣根を越えて一丸となり進めていくことを要請した。